

2016年9月4日

一般財団法人《花の家》

新プロジェクト発足のお知らせ

2016年秋当財団は、下記の三プロジェクトを開始いたします。

言語と芸術と子どもらに仕えて三十数年、私の芸術・治療教育の集大成となります。

1. 遺伝子の突然変異に起因する症例と未来の芸術教育
～「自閉症」「アスペルガー症候群」「ADHD」「LD」そして診断困難な子どもらのために～
2. 小児難病の子どもらを含めた終末期医療としての芸術プログラム
3. 大唐時代の五言絶句を中心としたアジア詩歌のリズム論

欧亜日の詩歌演劇と「特別な保護を必要とする子どもたち」の芸術教育に勤しんでまいりましたが、日々の忙しさにかまけてし残してきた三分野に、ようやく着手することができる運びとなりました。

次世代にどうしても伝えたいことです。

このプロジェクトによって、少しでも子どもらの魂が救われ、民族を越えた芸術が実現することを願います。

二〇一六年九月

川手鷹彦

研究は川手鷹彦を中心に外部の専門家にもご協力を願いつつ進める予定です。運営は、一般財団法人《花の家》運営事務局中心に特別編成し、補佐してまいります。

どうぞ、このプロジェクトにご興味を持たれそうなご友人・知人の方がおられましたら、ぜひご紹介ください。

【プロジェクト賛同者】（2016/9/1 現在）

村井実 慶應義塾大学名誉教授

高塚直裕 精神科医、ポロナイクリニック院長、北海道岩見沢児童相談所嘱託医、詩と藝術の館ポエティカ館長

黒川五郎 哲学者、ティー・セラピー・スタジオ芸術教育学研究所所長

小野寺隆 名護市屋我地診療所所長

* 特記 三プロジェクトは、それぞれ2019年末までに成果の上がないときには、計画自体を見直すこととする

一般財団法人《花の家》運営事務局 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-5-3
TEL/FAX 03-3280-1093 Email hananoie.tokyo@gmail.com